

ご近所のお医者さん

□
763
□

にいのぶ
クリニック院長

新居延高宏さん

＝吹田市



かかりつけ医を持ちましょー

あなたは「かかりつけ医」をお持ちでしょうか。日本医師会の定義によると、「かかりつけ医は、健康のことを何でも相談でき、必要な時には専門医や専門医療機関を紹介してくれる、身近で頼りになる医師」とされています。かかりつけ

医が必要とされる大きな理由は、

普段の自分の体の状態を知っている医師がいると、小さな変化に気付きやすいからです。自分と気が合う気さくで話しやすいお医者さんを見つけることが大切です。

健康でも今から準備

例えばあなたが今、おなか痛くなったりします。その痛みがかなり強かったらご近所のお医者さんを受診すると思います。もし、大きな病院をいきなり受診するとなると、7700円の初診料がかかります。国は、それぞれ

の医療機関で担う役割が異なるため、軽症の患者さんはなるべく近所の診療所に行くような医療の流れを作っているのです。軽症の患者さんが大きな病院に押し寄せると、重傷者や高度な医療が必要ながん患者さんなどを診られなくなるからです。

しかし、素人考えで症状が軽いと思って受診すると、実は胆のう炎や虫垂炎で緊急手術が必要であったということがあります。そういう時こそ、かか

りつけ医に大きな病院を速やかに紹介していただき、適切な治療を受けることが大切です。

昨年4月から厚生労働省が「かかりつけ医機能報告制度」を発足させました。我々開業医に何が診られて、どのような処置ができるかを集めて医療サービスを向上させる制度です。この制度は患者さんがどの症状の時にどの

医院を受診するかの目安になります。

かかりつけ医は、病気になってから行く所というより、健康を守るために普段からつながっておく診療所です。高齢になると今まで通えていた診療所も遠く感じ、車でも通院できなくなるかもしれません。日本には「国民皆保険」という素晴らしい制度もあります。あなたに合うお医者さんはきっと近くにおられます。健康な時こそ健診などを利用して自宅や職場近くの診療所にかかるのが良いでしょう。